

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公表番号】特表2007-530730(P2007-530730A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-504987(P2007-504987)

【国際特許分類】

C 08 L 23/16 (2006.01)

C 08 K 5/36 (2006.01)

C 08 K 5/3417 (2006.01)

C 08 K 3/34 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/16

C 08 K 5/36

C 08 K 5/3417

C 08 K 3/34

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月4日(2008.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エチレン-プロピレン-ジエンモノマーのターポリマー、

難燃剤および

抗菌剤

を含む組成物。

【請求項2】

前記エチレン-プロピレン-ジエンモノマーのターポリマーが前記組成物の約30.0重量%～約80.0重量%を構成し、

前記難燃剤が前記組成物の約10.0重量%～約30.0重量%を構成し、

前記抗菌剤が前記組成物の約0.1重量%～約0.4重量%を構成する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

難燃相乗剤、

酸化防止剤および

炭化水素油

を更に含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記組成物の全重量を基準にして、

前記エチレン-プロピレン-ジエンモノマーのターポリマーが前記組成物の約30.0重量%～約80.0重量%を構成し、

前記難燃剤が前記組成物の約10.0重量%～約30.0重量%を構成し、

前記難燃相乗剤が前記組成物の約1.0重量%～約4.0重量%を構成し、

前記抗菌剤が前記組成物の約0.1重量%～約0.4重量%を構成し、

前記酸化防止剤が前記組成物の約 0 . 5 重量 % ~ 約 2 . 0 重量 % を構成し、  
前記炭化水素油が前記組成物の約 1 0 . 0 重量 % ~ 約 2 5 . 0 重量 % を構成する、請求項  
3に記載の組成物。

【請求項 5】

シランカップリング剤、充填剤材料、過酸化物、アクリル助剤または酸化亜鉛の一以上  
を更に含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

表面を有する物品であって、  
エチレン - プロピレン - ジエンモノマーのターポリマー、難燃剤、抗菌剤、顔料およびエ  
ネルギービーム吸収剤の混合物と、  
前記表面上に配置された収束エネルギー誘導表示と、  
を含む物品。

【請求項 7】

外面を有する膨張状態にある管状物品であって、  
エチレン - プロピレン - ジエンモノマーのターポリマー、難燃剤、抗菌剤、顔料およびエ  
ネルギービーム吸収剤を含む混合物と、  
前記外面上に配置された収束エネルギー誘導表示と、を含み、緩和状態にあること  
が可能であり、膨張状態にある時および緩和状態にある時に前記表示から少なくとも約 3  
2 センチメートル離れて位置する 20 / 20 の視力を有する個人の肉眼に前記表示が判読  
性である管状物品。

【請求項 8】

難燃相乗剤を更に含む、請求項 1、6 または 7 に記載の組成物または物品。

【請求項 9】

外面を有する管状物品をマーキングする方法であって、  
エチレン - プロピレン - ジエンモノマーのターポリマー、難燃剤、抗菌剤、顔料およびエ  
ネルギービーム吸収剤を含む前記管状物品を提供する工程と、  
緩和状態から膨張状態に前記管状物品を膨張させる工程と、  
集束エネルギー誘導表示により前記表面上に表示を形成する工程と、  
前記管状物品を前記膨張状態からコールドシュリンクさせる工程と、  
を含む方法。